

吉備の古代史

石合六郎

プロフィール

いしあい・ろくろう NPO 法人福岡歴史研究会副理事長 石合 六郎 昭和 20 年 4 月、岡



山県倉敷市児島田の口に生まれる。児島高校を経て立教大学文学部史学科を昭和 44 年卒。同年山陽新聞社入社、政治部、整理部、東京支社編集部などを経て、システム部署で新聞データベース構築に携わり、平成 17 年システム局次長で退職。同社嘱託を経て、川崎医科大学に勤務、同 19 年退職する。

東京支社時代、取材で同郷の安本美典氏と知り合い、邪馬台国九州説に共感、その後、九州の遺跡探訪中に福岡歴史研究会の大谷賢二理事長と知り合い、同研究会古代史講座を立ち上げ、講師も務める。同会の古代史イベントを担当、歴史ツアーなどを企画、運営。地元吉備にも興味を持ち、伝承を調査研究。現在、同研究会副理事長。現住所は岡山市中区。

「吉備津彦命と温羅」 AMAZON で販売中

(ペーパーバック=1103円 Kindle 版=デジタル650円)



季刊「古代史ネット」のページ 執筆記事一覧

(吉備の古代史シリーズは季刊「古代史ネット」の第3回から掲載しています)

- 第1回 二人の天皇が行幸された谷 (2020.06)
- 第2回 巨大古墳を考える (上) 吉備津彦の時代 (4世紀) (2020.09)
- 第3回 巨大古墳を考える (下) 御友別の時代 (5世紀) (2021.12)
- 第4回 温羅伝説を考える (上) —こんな物語だった (2021.03)
- 第5回 温羅伝説を考える (中) —成立過程とその起原「神仏習合の中から誕生」 (2021.06)
- 第6回 温羅伝説を考える (下) —桃太郎伝説の誕生「日本人の心映す鏡」 (2021.09)

- 第7回 素戔嗚尊の剣 (上) —吉備のどこにあった? 「十握の剣流転の真実」 (2022.09)
- 第8回 素戔嗚尊の剣 (下) —どんな形だったか? 「邪馬台国時代の北部九州と類似」 (2022.03)
- 第9回 造山古墳の被葬者を探る (上) 「吉備海部の娘・黒日売命か」 (2023.06)
- 第9回 造山古墳の被葬者を探る (中) 「吉備海部は備中にいた」 (2023.09)
- 第10回 造山古墳の被葬者を探る (下) 「謎を解く肥後系古墳と血脈」 (2023.12)
- 第11回 播磨の戦はあった!!—片山神社伝承が証明「稚武彦は再度播磨へ」 (2024.03)
- 第12回 卑弥呼の剣と楯築の王 (2024.06)